

一人ひとりの取組を大きなみどりアップにつなげるため、

「みどりアップ」しています! 宣言 に登録しませんか?

樹林地を守るために...

森づくりの活動やイベントへの参加などによって、横浜の森や緑を守ることにつながります。

農地を守るために...

横浜産の農産物の購入や農体験などによって、横浜の農業と農地を守ることにつながります。

緑をつくるために...

緑を育て楽しむ活動などによって、横浜の緑を増やすことにつながります。



「自然に触れるイベントに参加」「横浜産農産物を積極的に購入」「身近な所で緑や花を育てる」など一人ひとりの取組をメッセージや写真とともに登録してください。

◆ご登録いただく◆

メッセージ・イニシャルなどをホームページで紹介、メールマガジンの受信や抽選でプレゼントがあたるなど特典があります。

◆登録期間◆

平成22年10月から平成26年3月未まで

★パソコンから登録の方



★携帯電話から登録の方

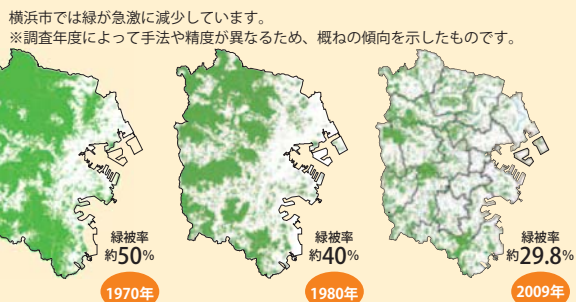


「横浜みどりアップ計画」とは?

横浜の緑の総量は減少を続けており、毎年約100haの山林・農地が失われています。緑は、一度失われると、回復が困難であり、その保全は緊急に取り組みなければならない課題です。

平成20年5月に実施した「横浜の緑に関する市民意識調査」では、緑の増加や維持を求める声が多くなっていますが、一方で、市内の樹林地や農地の多くは民有地であり、所有者には維持管理や相続税など大きな負担がかかっています。

緑の保全や創造のためには、指定による緑の保全を進めるとともに、市街地の緑化に取り組んでいく必要があります。そこで、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するために、従来進めている「横浜みどりアップ計画」の施策に加え、平成21年度から新規・拡充施策に取り組んでいます。



横浜市では緑が急激に減少しています。
※調査年度によって手法や精度が異なるため、概ねの傾向を示したものです。

横浜みどり税

樹林地や農地の多くが民有地であることから、所有者による緑地の保有を支援し、不測の事態による買取りの希望などに対応するとともに、市街地の緑化等を進めます。これらの施策を継続して実施していくためには、多くの費用が必要であり、安定的な財源を確保するために、平成21年度から「横浜みどり税」を実施しています。

【課税方式】(個人) 市民税の均等割に年間900円を上乗せ*1
(法人) 市民税の年間均等割の9%相当額を上乗せ*2

※1 所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない人等を除く。
※2 当初の3年度間は法人割割が課税されない法人を除く。

【実施期間】(個人) 平成21年度分から25年度分まで

(法人) 平成21年4月1日から26年3月31日の間に開始する事業年度分

【基金への積立】 税収相当額を「横浜みどり基金」へ積み立て、他の財源から分けることで使途を明確にします。

●問い合わせ先

「横浜みどりアップ計画」(新規・拡充施策)について
環境創造局みどりアップ推進課
TEL:045(671)2712 FAX:045(224)6627

「横浜みどり税」について
各区役所税務課または財政局税務課
財政局税務課 TEL:045(671)2253 FAX:045(641)2775



横浜みどり税を活用した

横浜みどりアップ計画

(新規・拡充施策)

平成22年度までの成果(概要)をご報告します。

市域の緑の減少に歯止めをかけ、緑豊かなまち横浜を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源に「横浜みどりアップ計画」(新規・拡充施策)を推進しています。

樹林地を守る

樹林地の保全指定がおおむね順調に進むとともに、樹林地の管理を市による管理や助成により実施しました。

森に関する講座を開催し多くの市民の方々に、森の大切さを感じていただきました。

- 樹林地の指定:205.3ha(117.5ha)
(特別緑地保全地区、市民の森、緑地保存地区など)
※205.3haは、日産スタジアム約30個分の面積になります。
- 樹林地維持管理助成:93件助成(74件助成)
- 保全管理計画策定に取り組んだ市民の森等7箇所(4箇所)
- 森への関心を高める講座:66回実施(34回実施)



樹林地の保全:上星川地区(保土ヶ谷区)



水田の保全(緑区)

緑をつくる

地域ぐるみでの緑化計画づくりが進み、地域ごとの緑のまちづくりの姿が具体的に见えてきました。

学校などの公共施設での緑化が進むとともに、支援・誘導により民有地での緑化が進みました。

- 地域ぐるみでの活動に取り組んでいる地区:10地区(2地区)
- 園庭・校庭の芝生化:67箇所(51箇所)
- 屋上・壁面緑化への助成:981㎡・31件(630㎡・19件)

農地を守る

農地(水田)の保全がさらに進みました。生産用機械の導入や農地貸付の支援により、やる気のある農家の生産環境が向上しました。

収穫体験農園の設置支援により、多くの市民の方々が農にふれあえる機会を増やすことができました。

- 水田の保全:100.2ha(10.7ha)
- 長期貸付を開始した農地:13.9ha・85件(13.9ha・85件)
- 収穫体験農園整備に対する助成:3.4ha・31箇所(2.3ha・22箇所)



保育園や幼稚園の園庭の芝生化(青葉区)



横浜みどりアップ計画

成果の一部をご紹介します。

市民が身近で地場農産物を購入できるよう、共同直売所の備品等の整備に支援



1 青葉区

民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に助成



2 旭区

樹林地の保全：新橋地区



3 泉区

樹林地の保全：峯地区



4 磯子区

市立保育園や小中学校の園庭・校庭の芝生化



5 神奈川区

市民の森などを歩く「健康ウォーキング」を実施



6 金沢区

貯水機能や景観形成など水田の多面的な機能を評価し、水田を保全



7 港南区



8 港北区

樹林地の保全：綱島地区



9 栄区

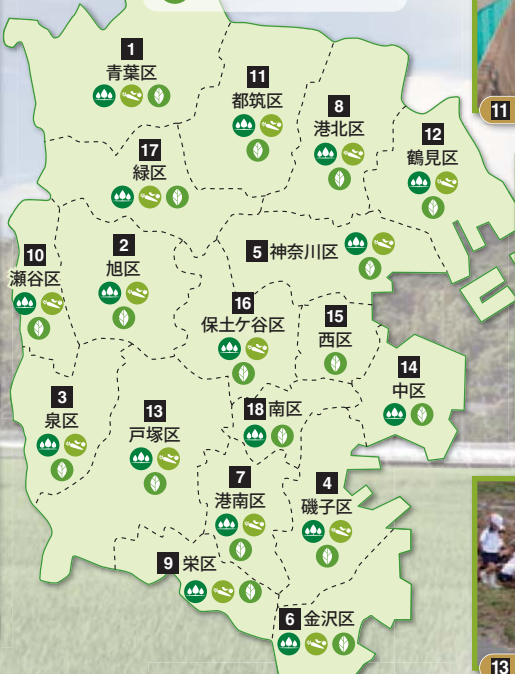
樹林地の保全：野七里地区



10 瀬谷区

農村の生活体験のできる古民家等を活用した体験型の催しを開催

- 樹林地を守る事業・取組
- 農地を守る事業・取組
- 緑をつくる事業・取組



11 都筑区

関係区域内で農地等の整備、景観植物の植栽・管理を行い、市民に農的景観を提供する団体に対し支援



12 鶴見区

樹齢がおおむね100年を超える樹木や故事・来歴等のある樹木を指定



13 戸塚区

果樹のもぎ取りや野菜の摘み取り等、市民が地産地消を体験できる収穫体験農園の整備に支援



14 中区

地区にふさわしい緑化計画を作成し、緑のまちづくりを推進(緑の管理を体験するための花苗植替講座)



15 西区

都市の美観の向上と街路樹の健全な育成を図るため、計画的なせん定を実施



16 保土ヶ谷区

間伐材を活用したクラフト作成ワークショップ等を開催



17 緑区

恒常的に不法投棄の多い農地周辺で、音声等で警告する警報装置を設置



18 南区

樹齢がおおむね100年を超える樹木や故事・来歴等のある樹木を指定

平成22年度に取り組んだ成果を掲載しています。



森づくりボランティア養成講座を実施



木との触れあいや、遊びを通じて森林環境を考える心を育てるプレイパークの実施



樹林地の特性をいかしたメニューによる森林教室「森の恵み塾」を開催



ブロック塀の撤去に伴う生垣の設置に助成



市街化区域の建築物の屋上または壁面の緑化に助成



人生の節目の記念日等に希望した市民に苗木を無料配布

成果のすべては、環境創造局「横浜みどりアップ計画」ホームページをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/midori-up/midori-up-plan/>